

令和8年度 富士見学園 地域連携推進会議 会議録

- 1 日 時 令和8年9月8日（火） 14時30分～16時50分
- 2 場 所 社会福祉法人あしたか太陽の丘本館4階大会議室、富士見学園応接室
- 3 出席者 5名（地域の関係者、利用者代表、利用者の家族代表、施設長、施設長代理）

4 会議等経過

(1) 事業報告

施設長が事業報告書を基に、内容を報告する。

(2) 施設見学

居住棟及び活動室を見学する。

5 質疑応答、要望等

【事業報告関係】

特になし

【施設見学関係】

地域関係者 会議に先立ちまして、各施設を見学させていただきました。見学の中では、申し上げたいことが数多くございましたが、すべてをお話ししますと長くなってしまいますので、詳細は割愛します。全体を通して強く感じましたのは、太陽の丘法人全体として、利用者の皆様の現在の状況を踏まえつつ、これから先、利用者ご本人やご家族の希望をどのように実現していくかについて、大変真摯に取り組まれているという点です。その姿勢に、深い感銘を受けました。また、1点だけ皆様と共有し、今後とも一緒に考えていきたいことがあります。それは、利用者の高齢化への対応です。一般社会と同様に、障害福祉の分野でも高齢化が確実に進んでおり、今後、こうした方々への支援をどのように構築していくかが重要な課題になると感じております。これは法人だけで取り組むものではなく、ご家族の皆様とも連携しながら、共に考えていく必要があるテーマであると思った次第です。

地域関係者からのその他意見

- ・施設見学を通じて、富士見学園が地域の避難場所としての障害者施設の防災拠点となっているとの事、最近は自然災害などが多いので、もしもの時には頼もしい存在です。
- ・事業報告書などから、あまぎ学園でも年齢の高い方がいらっしゃるが、その方たちのこれからの生活の場はどうなるのか。施設内で「看取り」も担っていくのでしょうか。
- ・テレビボックス、稼働壁などよく考えられた設備だと感じました。

利用者家族代表

・自分の子供だけでなく、それぞれの利用者さんに合わせた支援をしてくださりととても感謝しています。職員さんとのやり取りから本人が穏やかに過ごしていると表情から読み取れます。

・富士見学園での生活が穏やかに過ごしている反面、今後の進路については不安でいっぱいです。進路先はGHやB型事業所、入所などいろいろあるとは思いますが、本人の環境が大きく変わり、また最初から作り上げなければならないことは、親だけでなく本人にとっても大きな負担になると思います。できる事なら本人が認識している職員が支援してくれる、「太陽の丘」の中に富士見学園の次の施設ができれば…と願います。

以上